

今週のみことば

今週の御言葉 「主がお入り用なのです」

(ゼカリヤ書9章9節～10節)

「娘シオンよ、大いに喜び。娘エルサレムよ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。」(9:9)。

(マタイの福音書21章1節～11節)

「向こうの村へ行きなさい。そうすればすぐに、ろばがつながれていて、一緒に子ろばがいるのに気がつくでしょう。それをほどこいて、わたしのところに連れて来なさい。もしだれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐに渡してくれます。」(21:2,3)。

今日のメッセージ要旨

◎もし王様が来られて「あなたが必要だ」と言って下さるとするなら驚きです。真の王であられるイエス様はロバに乗ってエルサレムに入場された。その意味は？

◎ゼカリヤ書9章は、終末に関する預言です。特に9,10節はシオンの王の到来の預言です。これはメシヤ預言で、福音書はイエス様のエルサレムへの勝利の入場として引用しています(マタイ22:5, ヨハネ12:15)。

喜びの理由。1. メシヤなるダビデ家の王の到来です。その王様の特質は、①「正しい方」。特にモーセの律法に啓示されている、神様の倫理・道德規準に合致する正しさで、理想的な王様なのです(Ⅱサムエル23:3-4, 詩篇72:1-3, イザヤ9:7, 11:4-5, 53:11, エレミヤ23:5-6, 33:15-16)。②「救いを賜る」。③「柔和」(イザヤ53:2-3, 7, マタイ11, 29)。④「ロバに乗られる」平和の意味です。2. 神の國イスラエルと世界における普遍的平和と主権の御国の設立です。メシヤ的な王はアブラハム契約の最終的実現としての普遍的御国が設立されるのです(創世記12:3, 18:18, 22:18, 詩篇22:27-28, イザヤ45:22, 52:10, 66:18)。

◎マタイの福音書21章～27章までの内容はイエス様のエルサレム入場から十字架の死に至るまでの受難週の出来事が書されています。特に21章はエルサレム入場から始まります(並行記事マルコ11:1-10, ルカ19:29-38)。エルサレムは当時、過越の祭りのため群衆でひしめき合っていたのです。以前に自らの苦難と死について三回にわたって予告しておられたイエス様はその一行と共にエルサレムに入城された。その際イエス様は、メシア的王として歓呼の声で迎えられたのですが、実際は王にふさわしく戦用の馬に乗って威風堂々としてではなく、人や物を運ぶろばに乗っての入城でした。これははっきりと「受難のメシア」としての自らの使命を明らかに示すためであられたのです(イザヤ62:11, ゼカリヤ9:9)。

◎イエス様は確かに〈王〉ですが、自らが武力によって支配する王ではなく、人々の嘲笑を受けながら、自己をささげるといふ徹底的無抵抗の王であることを明らかにしておられる。正にイエス様は「平和の君」として来られたのです(イザヤ9:6)。ですから平和のしるしとして「ろばの子」しかも「人間が誰も乗ったことのないろばの子」と指定され、それに乗られたのです。これは特に神の御用のために聖別されていた印です(民数記19:2, 申命記21:3, Iサムエル6:7)。

◎〈ホサナ〉とは「今、お救い下さい」の意味です。私達も心を開いて主をお迎えしましょう。群衆は主イエス様を偉大な預言者として迎えたが、自分たちの期待はずれの現実に失望したのです。私達に主イエス様を「主」としてお迎えし、従う事が求められているのです。